

学校経営の方針

1 学校教育目標

夢に向かって共に高まる子どもの育成 ～輝く瞳 明るい笑顔 強い心～

2 子どもの実態や子どもを取り巻く環境

- 強み… ・素直で明るく元気。 体を動かすことが好き。
・諸活動に真面目に取り組む。 縦割り班活動での下級生への思いやり。
・自己肯定感・自己有用感が昨年度よりも高まっている (R7児童アンケート)。
課題… ・課題への根気強い取組や前向きに挑戦すること。
・コミュニケーション能力 (相手の個性を理解した行動や言葉遣い)。
・自分たちで問題に気づき、自ら考えて解決する活動の積み重ね。

3 具体目標

子どもの姿 ～瞳を輝かせ、明るい笑顔で学校生活を送り、強い心で夢に向う子ども～

- かしこく **知** 輝く瞳で 進んで学ぶ子ども
○やさしく **徳** 明るい笑顔で 心豊かな子ども
○たくましく **体** 強い心を持ち 努力する子ども

学校の姿 ～みんなが「気持ちよく」「楽しい」と感じられる学校～ (空気のおいしい学校)

- 楽しく学び確かな学力をつける 「学びがある」学校
○子どものよさを認め伸ばす 「仲間がいる」学校
○家庭・地域と連携する 「地域とともにある」学校
○子どもの命と健康を守る 「安全・安心がある」学校

教師の姿 ～子どもを愛し、協働で子どもの成長を支える教師～

- 互いに学び磨き合い よりよい授業を創る教師
○子どもの心に寄り添い 可能性の伸長に情熱を注ぐ教師
○保護者や地域との 信頼関係を大切にする教師
○よさを認め 高い志を求める教師

4 経営の重点

かしこい子どもに

◇確かな学力を保障する授業の充実

- ・ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた「分かる・できる」授業づくり
・子どもに寄り添い、個の力を伸ばす指導方法の工夫

◇主体的な学び手の育成

- ・主体的な対話による、共に高まる学び合いの充実
・言語活動の充実を図り、学ぶ意欲を高める工夫

やさしい子どもに

◇自己有用感を醸成する特別活動 (縦割り班活動、異学年交流、学級活動等) の推進

- ・互いの個性を認め合える学級づくり (多様な仲間と協働できる寛容な集団)
・問題を見付け、相手のために自分を生かし関わることによる自己有用感の醸成

◇心を育てる福祉・障害理解学習の充実

- ・地域の人々との交流と障害理解学習の計画的な実施
・自分の成長を実感し自分も他者も大切にする事前事後学習の工夫

◇道徳の時間を要とする心に響く道徳教育の充実

- ・教育活動全体を通した道徳教育の推進
・「特別の教科道徳」(道徳科) の授業の充実
【重点: 「親切、思いやり」「感謝」「相互理解、寛容」】

たくましい子どもに

◇健康でたくましい心と体の育成

- ・心と体を鍛え、目標に向けて粘り強く努力する心の育成
・体力の向上と食育の推進及び自己管理能力の育成

◇子どもの成長をつなぐ連携や交流の充実

- ・こども園との円滑な接続と小中 9 年間を見通した教育連携
・地域の教育力、専門機関の積極的な活用